

デジタルアーカイブ活動まとめ (プロジェクト研究Ⅱ発表)

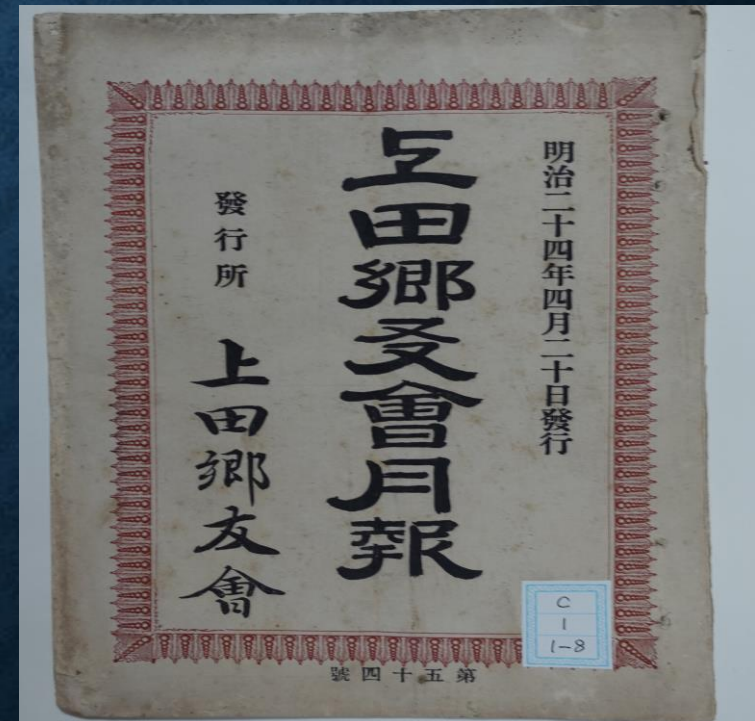
J20052 竹中 丈二

1. 地域の課題

- 地域には活用されないまま保管されている貴重な史料が多く存在している。(上田の上塩尻地区、小諸市など)
- 仮に活用されていたとしても地元歴史研究者による研究材料などローカルに限定される。(地元ですら共有されない)

上田郷友会月報第54号・明治24年
4月(1891)

<https://commons.net/upload/24/1/original/042595.jpg>



2. 課題解決策

- 地域史料をネット上に公開し、歴史、教育、地域探究などあらゆる分野にアクセスが容易かつ取り入れられるものを提供する。



史料をネット上に公開・保存することを「デジタル・アーカイブ」と言う。

3. 本プロジェクトにおける活動概要

主に上田上塩尻地区と小諸市で活動を行った。

- 上塩尻

藤本蚕業歴史館史料デジタル化→「藤本蚕業プロジェクト」

- 小諸

蚕糸業（「製糸」＋「養蚕」＋「蚕種（蚕の卵）」）関連の史料デジタル化

史料説明のYouTube撮影

講演会の参加・YouTube撮影

4. 藤本蚕業プロジェクト

- 上塩尻地区は蚕種の一大生産地で、大蚕種製造家である佐藤家(藤本蚕業)には貴重な史料が多数整理・保管
- 史料は蚕種にとどまらず歴史、文化、など多分野にわたり、当時の世相が非常によく理解できる。



貴重な史料をネット上に公開しよう!

活動の具体的内容

夏季休業、冬季休業期

- 歴史館内の史料をコピー機、一眼レフ、デジタルカメラを使用し撮影

10～1月

- 「藤本蚕業アーカイブ」を立ち上げ、撮影した史料を記事にして投稿
- 「デジタルアーキビスト講座」で活用

[URL:https://d-commons.net/fujimoto-arch/](https://d-commons.net/fujimoto-arch/)

活動成果

- 「デジタルアーキビスト講座」内での多種多様な探究発表
→地域の歴史的価値の最大限発掘、魅力の再発見がアーカイブから行える

活動課題

- コピー機とカメラ類間における撮影の質、時間の確保
- コピー機は高品質撮影が可能だが時間がかかり、分厚い史料は撮影しにくい。
- カメラ類(デジタルカメラ、一眼レフ)は時間が短く分厚い史料も撮影できるが、ブレが発生しやすく質が高くない。

5. 小諸での活動

- 小諸のNPO団体「糸のまち・こもろプロジェクト」代表清水寛美さんと連携し活動
- 小諸の蚕糸業を中心に史料を紹介

6. 活動の具体的内容

- 蚕糸業関連の資料デジタル化（Gドライブに保存）
- YouTube「いとのまち・こもろチャンネル」を立ち上げ、史料の説明や「糸のまち・こもろプロジェクト」主催講演会の撮影・投稿

[URL:https://www.youtube.com/channel/UCJoM7KD6Ht_jW5n2DrIsbFw](https://www.youtube.com/channel/UCJoM7KD6Ht_jW5n2DrIsbFw)

活動成果

- YouTube活動における活動体制の確立(講演会、街歩きの撮影方法、動画編集方法)

活動課題

- 上塩尻地区と比較して全体的に活動が低調
- YouTube投稿の史料化
- Gドライブ史料投稿用サイトの開設

7. 全体の活動評価

- デジタルアーカイブは地域の新たな価値を創造することが出来る。
- 開設したプラットフォームの磨き上げが必要

8. 今後の予定

藤本蚕業プロジェクト

- 史料撮影の継続
- 2/4, 5, 18に講座を開く

小諸

- 投稿動画の整理、撮り貯めした動画の投稿
- Gドライブ史料投稿用サイトの開設→小諸市立図書館との連携を構想

ご清聴ありがとうございました。